

安全で住みよい交通社会の実現をめざして

# こうこう いしかわ

2025  
新春号

Vol.616



## 令和7年使用 交通安全年間スローガン

### 内閣総理大臣賞〈最優秀作〉

- 運転者(同乗者を含む)に呼びかける部門  
守ろうよ チャイルドシートで 子の未来
- 歩行者等に呼びかける部門  
危険です ながらスマホで 踏むペダル
- こどもたちに交通安全を呼びかける部門  
青だけど 自分の目で見て たしかめて



2025年の干支、巳の置物

交通マナーアップいしかわ

[www.i-ankyō.jp](http://www.i-ankyō.jp)



## 交通事故のない社会を目指して

石川県知事 馳 浩



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃から、交通安全対策の推進に深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年発生した能登半島地震及び奥能登豪雨により犠牲となられた方々におくやみを申し上げますとともに、被災されたすべての方々、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の生活が一日も早く平穏に復するよう、引き続き能登の創造的復興に全力で取り組んでまいります。

交通事故は、被害者やそのご家族にとって精神的苦痛や経済的な打撃となるのはもちろんのこと、加害者も将来にわたって大きな負担を背負うこととなります。

近年、県内の交通事故発生件数や死傷者数は総じて減少傾向にあります。しかしながら、依然として、高齢者を中心に多くの尊い命が交通事故の犠牲になっているほか、絶対に「してはいけない、させてはいけない」飲酒運転による事故や、自転車による事故が、後を絶たないことも事実です。

県では、「飲酒運転を根絶する」という強い意志の下、飲酒運転を許さない環境作りに取り組むとともに、歩行者の安全確保、自転車乗車中のヘルメット着用や保険加入の徹底などを呼びかけてまいります。

交通事故の防止には、何よりも、一人一人が交通安全を自らの問題として捉え、ドライバー、自転車利用者、歩行者など、それぞれの立場で交通ルールを遵守し、思いやりとゆずりあいの心を持って、交通マナーの向上に努めることが大切です。

今後とも、警察や交通関係の皆様、地域で見守り活動を支えていただいている皆様など、全ての関係者の皆様と連携しながら、交通事故のない安全な社会の実現に向けて、しっかりと取り組んでまいりますので、引き続きお力添えを賜れますと幸いです。

最後に、本県の交通安全が維持されるよう、皆様方と一致協力し、県としてもしっかりと取り組むことをお誓い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 安全で安心な交通社会の実現に向けて

石川県警察本部長 大嶋正洋



謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨によりお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、昨年の県内における交通事故の死者数は前年と比べて増加しましたが、発生件数及び負傷者数は大きく減少しております。このことは、自治体、関係機関・団体をはじめ、交通安全活動に携わる多くの県民の皆様方の御努力の賜であり、感謝申し上げます。

一方で、死亡事故では高齢者が当事者となる割合が高いことや、子どもが犠牲となる痛ましい事故が発生しており、様々な年齢層に応じた事故抑止対策や、悪質・危険な違反に重点を置いた交通指導取締り等の諸対策を推進していく必要があります。加えて、大規模災害が立て続けに発生したことに心を置き、被災者のニーズに沿った交通安全活動や、被災地における道路の復旧・復興状況に合わせた交通安全施設の整備にも取り組んでまいります。

昨年5月に公布された改正道路交通法では、自転車の交通事故防止のための規定が整備され、昨年11月1日には自転車運転中の携帯電話使用等や酒気帯び運転について罰則が強化されました。また、公布から2年以内に、16歳以上の自転車による交通違反に対していわゆる青切符が適用されることとなります。

この法改正の動きの中、昨年は県内で自転車乗車中の死亡事故が増加しており、自転車乗車用ヘルメットの着用促進を含め、これまで以上に自転車の安全利用について広報啓発や街頭指導を推進することが必要不可欠です。

皆様方におかれましては、引き続き、交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努めていただくとともに、それぞれの家庭、職場、地域において交通事故防止にお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、皆様方の御健勝を御祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



## 交通事故のない社会を目指して

石川県市長会会長 村山 卓



令和7年の新春を迎え、年頭のご挨拶を申し上げます。  
 昨年元旦に発生した能登半島地震や9月の奥能登豪雨災害で多くの方々が被災され、いまだ避難生活を余儀なくされております。心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。  
 石川県交通安全協会の皆様方におかれましては、日頃から交通安全の推進に深いご理解と格段のご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げますとともに、昨年発生した震災等の復旧・復興についても、様々な形でご支援をいただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。  
 昨年の県内の交通事故の発生状況につきましては、件数・負傷者数ともに対前年比で減少しておりますが、依然として高齢者が巻き込まれる事故が多く発生しており、予断を許さない状況が続いております。  
 こうした状況を真摯に受け止め、警察並びに関係機関と更なる連携強化を図り、交通事故防止に向けた取り組みをより一層進め、交通事故のない安全・安心なまちをめざしてまいります。  
 近年、自転車による交通事故が増加傾向にあることから、昨年11月に道路交通法が改正され、自転車運転中にスマートフォン等を使用する「ながら運転」(「ながらスマホ」)の罰則強化、「自転車の酒気帯び運転」が新たに罰則の対象とされました。自転車の酒気帯び運転に関しては、運転をした本人はもちろん、酒気帯び運転をほう助した者にも罰則が科されます。自転車による事故から自分自身や周囲の人を守るためにも、改めて自転車の運転に関するルールを確認・遵守することが求められます。  
 交通事故を防止し、真に安全・安心な社会を築くためには、一人ひとりが交通ルールを遵守し、運転者、歩行者各々が相手を思いやることが最も大切なことであり、本年も、交通事故を一件でも減らせるように、皆様方とともに励んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。  
 結びに、本年も貴協会の益々のご発展と、皆様方のご健勝を祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 安全な地域社会の実現に向けて

石川県町長会会長 矢田富郎



謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
 また、日頃から交通安全の推進に深いご理解とご協力をいただき、心から感謝と御礼を申し上げます。  
 昨年は、元旦に発生した能登半島地震、さらに9月に発生した奥能登豪雨により、多くの方が被災されました。  
 亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた方へ、心からお見舞いを申し上げます。  
 そして、今年は穏やかな年になるよう、心から願っております。  
 さて、県内における交通事故については、関係機関や県民の皆様方のご尽力により、昨年は発生件数および負傷者数は減少しましたが、死亡事故の件数については残念ながら増加しており、多くの尊い命が失われました。  
 また、近年は高齢者が当事者となる交通事故が大きな社会問題となっており、高齢者の交通安全対策を推進することは社会全体の課題であります。  
 私たちにとって自動車は、日頃の暮らしを支える生活必需品であり、特に交通手段の乏しい地域社会においては、日常生活と切り離せない不可欠なものとなっています。  
 交通事故のない地域社会の実現のためには、交通ルールの遵守と交通マナーアップの実践だけでなく、思いやりと譲り合いの心で、県民が一体となって、一層の交通事故防止に努めていくことが重要です。  
 我々自治体としても、毎年、多くの尊い命が交通事故で失われている現実を真摯に受け止め、これまで以上に関係機関との連携を密にして、安全な交通環境の整備はもちろんのこと、自動車運転者だけでなく、歩行者や自転車利用者等、全ての道路利用者に対する、徹底した交通安全の広報啓発活動に取り組んでまいります。  
 どうか、関係の皆様におかれましては、新しい年を迎えるにあたり、今年もまた、心新たに、交通事故のない安全で快適な社会の実現に向け、一層のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。  
 終わりに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



## 安全で住みよい交通社会の実現を目指して

(一財)石川県交通安全協会会長 高田直人



新たな年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。  
 昨年は、元日の能登半島地震に始まり、9月には奥能登豪雨に見舞われるなど、当県にとっては極めて厳しい1年となりました。  
 改めまして、これらの災害によりお亡くなりになられた皆様の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。  
 また、平素、多くの県民の皆様には、安全で住みよい交通社会の実現を目指して当協会が行う各種活動に対し、深いご理解と多大なご支援を賜っておりますことに対しお礼を申し上げます。  
 さて、県内では昨年、交通事故の発生件数、負傷者数は大幅に減少したものの、交通事故によりお亡くなりになられた方は、前年に比べて増加した厳しい1年となりました。  
 特に、死亡事故の中で高齢者が当事者となる割合が高かったほか、自転車利用者がお亡くなりになった事故も増加しております。加えて、悪質な飲酒運転による交通事故も依然として発生しているようであります。  
 これらの交通事故を防止するためには、道路を利用するすべての人が思いやりと譲り合いの心を持ち、交通事故は決して他人事ではないとの交通安全意識を高め、交通ルールの遵守と正しいマナーを実践することが大切であると思っております。  
 当協会では、引き続き、県、市町、警察そして交通関係団体などの皆様とのさらなる連携を図り、交通安全広報・啓発活動や各年齢層に対する交通安全教育、交通安全街頭指導や反射材の普及啓発活動など、悲惨な交通事故を防止するための活動を積極的に推進して参ります。  
 なお、当協会の活動は、皆様から頂戴する貴重な免許会員会費、事業所や自治体などからの賛助金、補助金、寄付金などの財政的支援と多くのボランティアの皆様への献身的な活動によって支えられており、ご支援を賜りました皆様に改めまして深く感謝を申し上げますとともに、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
 結びに、本年が皆様にとりまして心穏やかな年となりますとともに、悲惨な交通事故が1件でも減少するよう、加えて1日も早い被災地の復旧復興をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

明けましておめでとうございます



金沢中支部会長  
宮岸 武司



金沢東支部会長  
豊藏 享一



金沢西支部会長  
西山 勇



加賀支部会長  
岸 省三



小松支部会長  
小前田 彰



能美支部会長  
吉田 守伸



松任支部会長  
徳多 正人



鶴来支部会長  
池田 彰二



河北支部会長  
竹内久外志



羽咋支部会長  
寺井 康人



七尾鹿島支部会長  
赤 喜久造



穴水支部会長  
村山 隆



輪島支部会長  
三辻 敬



能登支部会長  
中山 幸永



珠洲支部会長  
重政 靖之





## 令和6年度石川県交通安全県民大会

11月29日、県地場産業振興センターで令和6年度石川県交通安全県民大会を開催し、来賓や受賞者など出席者約300人は事故防止への誓いを新たにしました。

大会では馳浩県知事、大高正洋県警本部長、高田直人県

安協長が挨拶し、交通安全ポスターコンクール最優秀者、交通安全に尽力した団体や個人などの表彰と続き、受賞者を代表して橋場健次さんが大会宣言を述べました。



## 第18回交通安全高齢者自転車大会

12月3日、金沢港クルーズターミナルで第18回交通安全高齢者自転車大会を開催し、団体で穴水町交通推進隊が、個人で七尾シルバー人材センターの藤井外男さんが優勝しました。

大会は65歳以上の高齢者12チーム36人が自転車に安全に乗るための必要な知識や運転する体力を評価する「知力・体力テスト」と自転車の正しい乗り方と安全な走行を評価する「実技テスト」で競いました。

### 団体入賞

- 優勝 穴水町交通推進隊（穴水支部）
- 2位 加賀（加賀支部）
- 3位 七尾市シルバー人材センター（七尾鹿島支部）

### 個人入賞

- 優勝 藤井外男（七尾市シルバー人材センター）
- 2位 山下善平（穴水町交通推進隊）
- 3位 荒木欣二（寺井地区）



## 「飲酒運転根絶の日」及び「年末の交通安全県民運動」出発式

12月11日、金沢港クルーズターミナルで県が条例で定めた「飲酒運転根絶の日」と「年末の交通安全県民運動」出発式が行われ、関係者らは飲酒運転根絶と事故防止に取り組むことを誓いました。

式では森田典子県生活環境部長、西村和市県警交通部長らが



挨拶し、日本航空高等学校石川ダンス部によるダンスパフォーマンス（ビデオメッセージ）の披露の後、白バイやパトカー、自治体の広報車が街頭活動に出発しました。

その後、金沢駅もてなしドームで交通安全キャンペーンを行い、通行人にチラシや反射材などを配り、事故防止を呼び掛けました。



# 支部 だより

交通安全協会15支部の  
活動状況です



## 金沢中支部

### 金沢中交通安全協会表彰式 2団体37人をたたえる



11月25日、金沢東急ホテルで表彰式を開催し、交通安全に尽力した2団体37人を表彰しました。宮岸武司安協長、久島泰志金沢中署長が挨拶し、金沢中街頭交通推進隊田上支隊の渡辺誠治支隊長が謝辞を述べました。

## 金沢東支部

### 金沢東交通安全協会表彰式 1団体63人をたたえる



11月26日、ANAホリデイ・イン金沢スカイで表彰式を開催し、交通安全に尽力した1団体63人を表彰しました。豊藏享一安協長、藤嶋誠金沢東署長が挨拶し、受賞者を代表して藤岡薫さんが謝辞を述べました。

## 金沢西支部

### 金沢西交通安全協会表彰式 8団体34人をたたえる



11月29日、金沢港クルーズターミナルで表彰式を開催し、交通安全に尽力した8団体34人を表彰しました。西山勇安協長、松崎弘金沢西署長が挨拶し、受賞者を代表して橋本雄一さんが謝辞を述べました。

## 加賀支部

### 死亡事故ゼロ2,000日達成 三木支部に感謝状を贈る



10月4日に交通死亡事故ゼロ記録2,000日を達成した三木支部に対し、同月9日、大聖寺署で感謝状贈呈式を開催し、岸省三安協長と木谷力署長連名の感謝状を同地区の西埜眞也安全部長に手渡しました。

## 小松支部

### 歩行者保護キャンペーン 女ドラが呼び掛け



10月29日、小松駅近くの土居原町の市道で、歩行者保護キャンペーンを行い、女性ドライバーの会員らはドライバーにチラシや手作りのお守り100セットを配り、歩行者優先を呼び掛けました。

## 能美支部

### 自転車マナー向上アドバイザー 5人に委嘱



11月15日、能美署で自転車運転マナー向上に向けたアドバイザーに高齢者自転車大会に出場する選手ら5人を委嘱しました。米山亮一署長が委嘱状を交付し、吉田守伸安協長がヘルメットを贈呈しました。

## 松任支部

### 松任地区安協連合会表彰式 1団体41人をたたえる



11月21日、白山署で表彰式を開催し、交通安全に尽力した1団体41人を表彰しました。徳多正人安協長、竹本邦夫署長が挨拶し、受賞者を代表して野川義三さんが謝辞を述べました。

## 鶴来支部

### 交通安全コーナー 文化祭で事故防止



10月26日、鳥越コミュニティセンターで開催された文化祭に交通安全コーナーを設置し、タッチパネルモニターを使った運転能力の診断や反射材の配布などで来場者に事故防止を呼び掛けました。



**河北支部**  
**反射材ツリー**  
**園児が願う事故防止**



11月28日、さくらこども園で年長児20人が反射材の効果を学びながら反射材ツリーの飾り付けを行いました。12月25日まで津幡署に展示して事故防止を呼び掛け、反射材は来庁者にプレゼントしました。

**羽咋支部**  
**交通安全県境キャンペーン**  
**氷見市と合同で事故防止**



9月27日、氷見市谷屋の国道415号で氷見市と合同で交通安全県境キャンペーンを行い、両市の自治体や警察、安協など関係者らは「交通安全に県境なし」を合言葉に事故防止を誓いました。

**七尾鹿島支部**  
**電動キックボード交通安全教室**  
**正しい使用法を学ぶ**



9月24日、七尾署で電動キックボードの普及を進めている住民団体「七尾まちあるきセンター」に対する交通安全教室を開催し、関係者らは七尾署員の講義によりルールや正しい使い方を学びました。

**穴水支部**  
**ピカチュウ反射材贈呈**  
**児童を交通安全から守る**



全日本交通安全協会から能登半島地震被災地支援としてピカチュウの反射材が寄贈され、11月7日、向洋小学校に山田謙太郎副安協長が、同月21日、穴水小学校に村山隆安協長が訪問し、両校全児童に贈呈しました。

**輪島支部**  
**交通安全教室**  
**疑似体験で事故防止**



12月4日、ふれあいプラザ二勢で高齢者の交通安全教室を開催し、参加者20人に仮想現実(VR)ゴーグルを使って360度の映像で交通場面に潜む危険を疑似体験してもらい事故防止を図りました。

**石川県内**  
**交通事故発生状況**

区分	年累計	前年比増減数
件数	1,662件	-269件
死者	29人	+3人
傷者	1,889人	-328人

**石川県内市町別**  
**交通死亡事故ゼロ継続日数**

1位	川北町	3,258日
2位	宝達志水町	1,632日
3位	津幡町	1,565日
4位	穴水町	1,152日
5位	輪島市	802日
6位	内灘町	573日
7位	中能登町	427日
8位	白山市	375日
9位	かほく市	298日
10位	珠洲市	180日

石川県警察本部交通部交通企画課調べ  
 (令和6年12月16日現在)

**能登支部**  
**交通安全キャンペーン**  
**つけてかぶってほしいだけ**



10月21日、ショッピングタウンアルプで交通安全キャンペーンを行い、反射材を身につけて自転車ヘルメットをかぶってほしいだけとちなんだ能登高校の生徒が作った干しシイタケを買い物客に配りました。

**珠洲支部**  
**冬タイヤ早期装着キャンペーン**  
**解体業者に呼び掛け**



11月26日、市内の災害ゴミ仮置き場で冬タイヤ早期装着キャンペーンを行い、県外からの解体業者に被災地における積雪事情を説明し、早めのタイヤ交換を促し、事故防止を呼び掛けました。



令和7年  
使用

# 交通安全 ポスターデザイン募集

## 令和7年使用 内閣総理大臣賞受賞スローガン

**一般部門A** 運転者（同乗者を含む）に呼びかける部門 **誰でも応募可**  
**守ろうよ チャイルドシートで 子の未来**

**一般部門B** 歩行者等に呼びかける部門 **誰でも応募可**  
※歩行者等とは、自転車・特定小型原動機付自転車利用者を含みます  
**危険です ながらスマホで 踏むペダル**

**こども部門** こどもたちに交通安全を呼びかける部門 **中学生以下のみ応募可**  
**青だけど 自分の目で見て たしかめて**



### 募集内容

各部門とも上記の「令和7年使用内閣総理大臣賞受賞スローガン」を**原文のまま**使用してポスターを制作してください。  
スローガンの漢字をひらがなやカタカナに変えたり、句読点や括弧などを付加した場合は審査対象となりません。

### 作品サイズ

**一般部門A、B** B3判またはB3判相当の四ツ切り用紙 **縦位置に限る**  
**こども部門** B3判またはB3判相当の四ツ切り用紙 **縦・横位置自由**  
※印刷用トンボ（断裁位置の目印）や余白は不要です。障がい等で上記作品サイズを描くことが困難な場合は、  
「交通安全ポスターデザイン」事務局（毎日企画サービス内）へお問い合わせください。

### 制作上の注意

本ポスターデザインは交通安全を訴えるものであることから、交通ルールを遵守したものとし、制作にあたっては特に以下の点に注意すること。ただし、危険性を訴える目的で信号機を擬人化するなど、制作上必要が認められる場合は審査の際に考慮する。

- 信号機、標識、標示等を正しく描く。
- 車内の人物はシートベルトまたはチャイルドシートを正しく装着させる。
- 自転車・特定小型原動機付自転車を素材にする場合は、車体（ブレーキ等）と乗り方を正しく描く、ヘルメットを正しく着用させる。
- 自作、未発表作品に限る。他者の知的所有権を侵害しないこと。  
他者の作品や顔写真、商品、商標等を作品中に含まれていると判断された場合は審査の対象とならない。
- 応募点数に制限はもうけない。共同制作も可。
- パソコンによる制作、レタリングやイラストレーションの使用、写真のデザイン化も可。



### お問い合わせ

毎日企画サービス「交通安全ポスターデザイン」事務局  
電話 **03-6265-6815**（平日午前10時～午後5時）

詳細はこちらの二次元コードからもご確認できます。

毎日新聞社 交通安全ポスターデザイン募集

検索



## 交通安全協会に加入して交通安全にご協力を

交通安全協会は、安全で住みよい交通社会の実現をめざして県内の各地域で様々な交通安全活動を展開しています。この活動の支えとなっているのが会員の皆様からご支援をいただいている会費です。皆様の住む地域の交通安全活動のために、ご協力をよろしくお願いします。

WEBサイトを  
ご覧ください。



安全で住みよい交通社会の実現をめざして

**こうつういしかわ**

新春号 2025 Vol.616

一般財団法人 石川県交通安全協会

〒920-0209 金沢市東蚊爪町 2 丁目1 番地

TEL:076-238-0496 <https://www.i-ankyo.jp>

令和7年1月1日発行  
（臨時増刊号）

定価 25円（税込）